

沙流川大学専攻科「手芸（染物）」修了

本年度の沙流川大学専攻科「手芸（染物）」は畠中康子氏を講師に迎え、グループⅠ（4名）グループⅡ（5名）により、自主運営を基本に開催してきました。

作った人によって柄や模様も違うなど個性豊かな素晴らしい作品を町民文化祭に展示し、本年度の専攻科「手芸（染物）」は修了となりました。

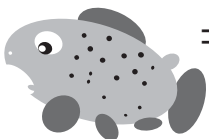


第42回町民スポーツの集い・スポーツフェスティバル

第42回町民スポーツの集い・スポーツフェスティバルが、9月7日～10月12日の期間に町内の各施設で開催されました。

初日の『自治区・職域対抗ソフトボール』を皮切りに、日高町教育委員会や体育協会加盟団体が大会を開催し、各団体のご協力により多くのスポーツ機会が提供され、多くの愛好家や普段スポーツに馴染みのない方々がスポーツで汗を流しました。

自治区・職域対抗種目には各地域・職場からチームが出場し、各種目とも熱戦が繰り広げられ、期間中は多くの町民の方がスポーツの秋を満喫していました。



『ルアーフィッシング教室 in 支笏湖』 終了！

10月15日・18日の2日間、『ルアーフィッシング教室in支笏湖』が開催され14名の子どもたちが参加しました。初日は事前研修として魚や用具の知識、ルアーの投げ方などを学習し、最初は上手く投げることの出来なかった参加者も、回数を重ねるごとにどんどん上達し30メートルを遠投する参加者もいました。

迎えた本番当日、当初予定していた南富良野町のかなやま湖の水位が低く、急遽支笏湖に変更した本事業には、日高町に拠点を置く釣り会『TCD（トップキャスターズダービー）』の方が優しく楽しみながらルアーフィッシングを教えていただきました。

支笏湖では秋晴れのポカポカ陽気の中、参加者たちが湖に向かって黙々とキャスト（ルアーを遠くに飛ばすこと）するも、やはり愛好者の間でも難しいといわれる支笏湖を攻略することはできず、何とか釣らせてあげたいと午後からは鶴川町の汐見漁港へ移動。漁港ではウグイやソイ、カレイにカジカなど全部で13匹の魚を釣ることができ、釣れなかった参加者も『大きな魚が泳いでいるのが見えた』、『魚が跳ねていた』と興奮気味に話している姿が見られるなど、思い出に残る秋の一日となりました。





● 体験学習講座

「しめなわリースをつくろう」

《お問い合わせ》
門別図書館郷土資料館
電話
01456-2-3746

【開館時間・休館日は、イベント情報欄をご覧ください。】

日時	12月13日（日）午後1時30分～午後3時
会場	門別図書館郷土資料館 特別展示室
定員	10名（先着順）※小学5年生以上 （ただし、小学生は保護者同伴のこと）
申込期間	11月27日（金）～12月9日（水）
申込先	門別図書館郷土資料館へ電話 電話 01456-2-3746
教材費	500円（当日お支払い）

● オペラを楽しめ

酔いどれ詩人が見た恋の夢とは…

オッフエンバック『ホフマン物語』

人は恋によって大きくなり、涙によってさらに大きくなるのです！

永遠の女性像を追い求め、詩人ホフマンは三人の女性に恋し、そのすべてに破れてきました。ある日酒場でホフマンはその悲しい過去の恋愛話しをとうとうと語り出します。女神に見守られながらも悪魔に翻弄され「間違った相手」ばかりを愛した男の三つの恋物語。「ホフマンの舟歌」が現実と幻想のはざまをたゆたうようなムードを盛り上げます。

日時	12月12日（土）午後1時30分から
会場	門別図書館郷土資料館 視聴覚室
参加費	無料
その他	大画面スクリーンでの映像鑑賞です。 ※申し込みは不要です。当日会場へお越しください。

● 梅澤幸子^{うめ さわ さち こ}油彩展開催中

富川在住の梅澤幸子さんは、当町に滞在していた日輝会創設者三上隆彦氏に師事し油彩等を学びました。「牧場があり馬がいる当たり前の風景は宝の山。」と言う師に伴い、茅葺きの家屋、畜舎、小さな牧場などをスケッチし、師の作品の同時模写をしながら自分なりの馬の描き方を習得しました。今回は1977年から約10年間にわたり描き溜めた油彩作品22点を展示しています。

【展示期間 12月27日（日）まで】

